

めぐりっと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所

TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243

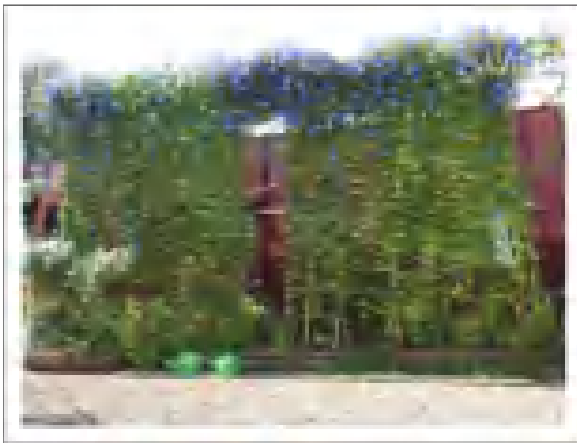
E-mail miraikenshiwa@mirai.com

緑のカーテンコンテスト結果発表！

緑のカーテンコンテスト第1回目を開催したところ、個人13人、公民館2館の応募がありました。応募いただいた皆さん、本当にありがとうございました。一般審査は、10月に開催された「産業まつり」の会場においてアンケート形式で行いました。そのアンケート結果と紫波町（後援）本研究所の厳正なる審査の結果、本年度は下記の賞を差し上げることになりました。

来年度は、コンテストに参加したいが自信がないという方のために、緑のカーテンづくり講習会も予定していますので、今年以上にたくさんの方に参加していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

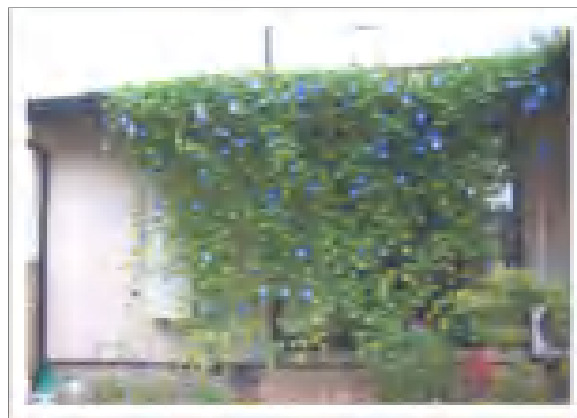
【個人の部】



おうちまるごと
緑のカーテンみたいで賞
佐藤 吉良さん

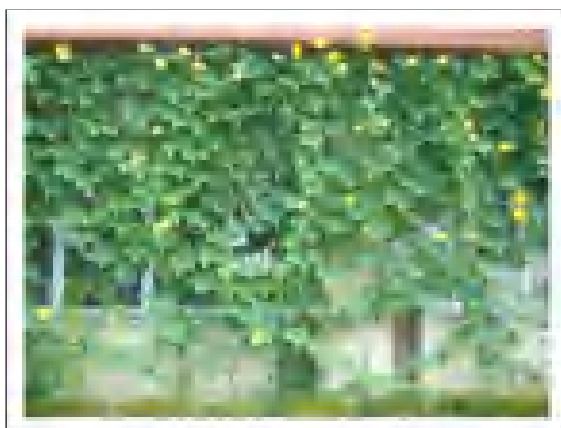


猫も涼しかったで賞
菅原 稔さん



ヘブンリーブルーの滝
みたいで賞
菅川 洋子さん

【公共施設の部】



ナイアガラの滝みたいで賞 彦部公民館



ツインタワーみたいで賞 赤石公民館

循環型まちづくり施設見学会開催！

11月9日(火)、紫波町が進めている循環型まちづくりの4つの方針のひとつ、資源循環のまちづくり施設を見学した。日詰8区の自治公民館の皆さんを含めて26人の参加。

最初に、森林資源循環の一環として建てられた「上平沢小学校」を訪問。平成15年に建てられた学校は、町産木材を使い、しかも、町内の大工さんたちが建設に携わっている。

次に訪れたのは、「えこ3センター」。町内で排出される家畜(牛・豚・鳥)排泄物、事業系食品残さ等、もみ殻等を原料として堆肥を製造している町直営の施設だ。ここでは、町内の製材所等から排出される製材端材、オガ屑を活用して木質ペレットも製造している。「感動した」という声が聞こえた。

最後は、盛岡・紫波地区環境施設組合清掃センターを見学。参加者がもっとも関心の高かった施設である。リサイクルも個々の分別の仕方が徹底されていないと無駄になってしまうことがわかり、参加者は少しショックを受けていた。分別の仕方・効果をもっとPRする必要を感じた見学となったようだ。



上平沢小学校

えこ3センター

~わたしのひとこと~

菱川 美子さん(日詰在住)

水分の菅原さんが、子供の本「学び羅針盤」を立ち上げることを紫波広報で知り、35年近く色々な形で子供の本に関わって来た私は、早速入会。月1回の例会、課題の本は会員が順番に決める。11月で13回目である。会員は数人だけ、子供に本を広める活動をしている方々だから読みの深さに感動させられる。

私も課題の本からいろんな事を広げてもらう。「ぼくは王様」を読んだ時、寺村輝夫さんがアフリカの野生と思想に興味を持ち、12回もアフリカを旅して「アフリカのシュバイツァー」を書いてた事。「床下の小人たち」の読後、宮崎駿さんと米林監督企画のアニメーション「借りぐらしの

アリエッティ」を盛岡の映画館でみた等。

10月の課題は「銀河鉄道の夜」だった。すごく面白かった。私は20年前、日曜の午後は夫の車で仙人峠を越えて釜石へ、水曜は一人で釜石線で帰宅という生活をした。車窓から眺める四季の山の木々の変化、民家の様子は「銀河鉄道」と重なってくる。そこに風によってベルやシロフォンの音色が流れて来たり、ルビーやリチウムの輝きがみえたら最高だ。素晴らしい本がたくさんある今、子供達に自分のテーマをうながす本に出会わせたいとの願いを深めている。

次回は、小田中耕一さんに
バトンタッチ！



イベント情報！

環境新世紀10周年記念事業

これまでの10年、これからの10年を考える

日時 12月19日(日)13:00~17:00

場所 野村胡堂・あらえびす記念館

第一部 報告 環境新世紀と共に歩んだ10年

第二部 土の人 風の人 おしゃべりコンサート

第三部 引き継ぎ式 環境新世紀 百年後の子どもたちのために

主催 紫波町

「めぐりっと紫波」は、紫波町環境課からの委託事業で発行しています。